海老名市立東柏ケ谷小学校　学校運営協議会　議事録
（令和５年度　第１回）

１　日時　　令和５年４月 14 日（金）　18：00～

２　場所　　海老名市立東柏ケ谷小学校　ランチルーム

３　出席委員　　芳賀敬子委員長，橋本絵美里副委員長，佐藤充明副委員長，長井徹委員，柳下泰介委員，瀬戸口壮委員，小池一美委員，守谷美子委員，工藤真委員，佐藤孝男委員，小林丈記校長

４　会議の内容

（１）　小話タイムテーマ：「地域に愛着をもち、主体的に関わることのできる子供たち」

佐々木教諭：地域に目を向けるためには、自分自身を肯定的に受け入れることが大切だと考える。また、東柏ケ谷のよさを伝えていく必要がある。

小林校長：学力状況調査の児童質問紙の中で「地域の方の行事に参加していますか」という質問がある。東柏ケ谷小の子どもたちは「参加している」と答えている人が多い。その意識を継続させていくためには、地域で参加してみたくなるようなイベントがあったり、地域の方が工夫してくださったりしていることを発信していく必要がある。

奥田教頭：お祭りに積極的に関われるとよい。そのためには子どもたちだけでなく、親の関わりも影響してくると思われる。環境も大切。顔見知りになってあいさつできたり、手を振ったりすることができるとよいと考える。

佐藤委員：地域に愛着をもつには、地域のイベント事や祭りに参加することが大切である。主体的に関わるには、自分から挨拶する。だが、大人からも発信が必要。

工藤委員：コロナで子ども会がなくなったりお祭りが減ったりしている。お祭り以外にも他学年が交流できたらよい。ゆいまーるの会では、夏休みに工作教室をやっている。お祭り以外にイベントがあると地域との関わりが増えてよい。

（２）　はじめに

芳賀委員長：桜の花が葉桜になっている。平和な世界になってほしい。来年度は教科書が変わり、時代の流れを感じる。教科書に QR コードがあって驚いている。今はパソコン室がない。AI の状況社会の中の子どもたちとどう関わっていくかを考えていきたい。

（３）　教職員の紹介

小 林 校 長 ：今年度は名簿を配らせていただいた。
◎…学年の担当の先生、＿＿＿…グループリーダー
佐々木教諭：本日欠席の先生は、次回５／22 に紹介いたします。

（４）　学校長より

小 林 校 長 ：令和４年度ありがとうございました。今年度の児童数 382 名で、通常級 14 クラス、支援級３クラス 15 名です。教職員数は 24 名です。４月の大きな変化として、４／１から市のガイドラインが変わったことで全ての教育活動の制限がなくなった。少しずつコロナ前に戻していきたいと考えている。給食や掃除など少しずつ緩和していく。離任式・着任式、始業式は空模様が悪かったため、体育館で行った。運動会もお手伝いいただきたい。課題としては、マスクを外せない児童が上の学年に多い。今後もご指導やご助言をいただきたい。よろしくお願いいたします。

・令和５年度　学校経営基本方針について

小 林 校 長 ：前年度までの学校教育目標は５本あったが、１年間の指導を見ていて乖離していると感じた。学校教育理念として格上げした。「目指す学校の姿」「育てたい子どもの姿」を学校教育目標として３年計画で進めていきたい。本校は道徳教育を研究してきた。培った力をさらに広げ、地域の方との関わりを通して生きる力を育んでいくという未来に向けた目標にしている。先生たちには子どもたちを評価するときには「やる気・本気・根気・思いやり」を大切にしてほしいと話している。「自己肯定感・主体的な学び・多様性の尊重・生きて働く力」の４つを子どもたちにつけていかなければいけない。学校教育目標を推進していくにはグループで取り組んでいく。「地域の風が行きかう特色ある学校づくり」という思いで推進していきたい。その目標となっていくのが「地域に愛着をもち、主体的に関わることのできる子どもたち」である。これは地域の方とコンセンサスをとって目指すべき児童像。学校、地域、家庭がそれぞれの役割を果たすことで実現することができる。また、CS ルームを引っ越しした。使い方については今後検討していく。つながりの場、憩いの場にしていきたい。
橋本副委員長：名称は CS ルームのままがよい。

委員の皆様に承認していただいた。

（５）　地域連携の１年間の予定

・育てたい子ども像（目標）について

佐々木教諭：グランドデザインに書いてある通り

・「社会に開かれた教育課程」について

佐々木教諭：昨年度のデータをもとに今年の各学年の地域の方との交流できそうなことが記されている。

芳賀委員長：コミワクタイムができる状況になったら考えていきたい。

佐々木教諭：今年度はこのような流れで行っていきたい。よろしくお願いいたします。

（６）　今年度の校内研究について

小久保総括教諭：給食の時間に話してもよいが子どもたちはまだよそよそしい様子。３年間のコロナの影響は大きいと感じる。コロナ前と比べて語彙が少ない、対話や発表に消極的、相手の気持ちがわからないなどが課題になっている。東柏の子どもたちのよさである素直さや人懐っこさをいかしていきたい。今年度は、自分の考えを積極的に伝えてほしいということで教科を「国語」に設定した。以前から研究していた道徳教育についても継続していく。「やさプロ」や「道徳の日」は行う。地域の皆様にもぜひ見に来ていただきたい。また ICT 担当と連携して、一人一台端末を使った授業研究や職員も活用の仕方を学びたいと考えている。地域の皆様には授業をはじめ、「CS 朝会」や「やさしい心を広げようプロジェクト」などでご協力いただきたい。一年間よろしくお願いします。

（７）　年間予定について

小 林 校 長 ：年間計画の全体像についての説明は省略する。赤字で書かれているところは、地域の皆さんと会議をする日になる。えびなっ子スクールは 11 月頃、運動会は５月 27 日（土）に予定されている。

佐々木教諭：このように年間行事をお配りできるのもコロナが収束したからである。行事などにもご協力お願いいたします。

（８）　運動会について

関 岡 教 諭 ：テントの借用と運搬について、大きさや数をご確認いただきたい。

小 林 校 長 ：前年度の反省で片付けが大変だという話があった。今年度はできる限り職員も行うのでご理解いただけたらと思う。

関 岡 教 諭 ：前日準備、当日準備もお願いいただきたい。
芝刈りは５／13（土）、予備日５／20（土）に行う。延期の場合は、自治会長さんにご連絡する。（当日の判断は７：30）

今年度の運動会は、保護者の入れ替えはなしで考えている。１日開催ではなく、半日開催で行う。

小山内委員：前日準備のタイムスケジュールを書いてほしい。(13 日の芝刈りの際に自治会長さんにご連絡する)

橋本副委員長：芝刈り、前日準備の際に学校応援団がお茶出しをする。学校から協力したほうがよいことを教えてほしい。(後日打ち合わせをする)

芳賀委員長：今年度も PTA に連絡をして芝刈りを一緒に行いたい。

奥 田 教 頭 ：運動会の招待状をお渡しさせていただいた。

(９)　CS センターについて

小 林 校 長 ：CS ルームの場所を移動した。今後どのように活用していくのかを検討していきたい。

(10)　50 周年の準備委員会について

小 林 校 長 ：今年度は準備の期間にしたい。準備委員会を立ち上げて橋本副委員長に委員長としてお願いしたい。芳賀委員長にもご協力いただく。

芳賀委員長：30 周年も携わり、50 周年も関わっていく。よろしくお願いいたします。

橋本副委員長：引き受けたのは、学校と地域の皆様に育てていただいたことへの感謝を示したいから。一人では難しいので皆様にもご協力していただきたい。よろしくお願いいたします。

(11)　その他

・「市民レク」について

長 井 委 員 ：５丁目、ルアンジュの会長が変わったため、まだ話し合いを行えていない。

柳 下 委 員 ：本来は子ども会が主催だが、なにもなくなってしまったからどうしていくか。

小 林 校 長 ：新しい自治会長と話を進めて、実行委員を立ち上げて進めていきたい。

工 藤 委 員 ：青健連の議題には上がっていない。

佐 藤 委 員 ：学校運営協議会で話し合ったことが、学区連絡協議会に伝わっていてほしい。

小 林 校 長 ：次回の学校運営協議会で今後どのように進めていくかを検討していきたい。

工 藤 委 員 ：はじめに芳賀委員長からも話があったが、AI の進歩について感動した。子どもたちは今後使っていくだろう。学校がどのように伝えていくのか心配でもあり、楽しみでもある。

（12）　おわりに（学校運営協議会副委員長）

佐藤副委員長：長い時間お疲れさまでした。限られた回数の中で子どもたちのために考えていけたらと思う。次回もよろしくお願いいたします。

次回の学校運営協議会は，令和５年５月22日（月）15：30から開催予定。